

2020年下期 JICA海外協力隊

帰国報告会



11月14日(土) 11:00 ~ 16:00
11月15日(日) 11:00 ~ 16:00

発表者	派遣国	職種	活動概要
11月14日(土) 11:00~12:30			
開会挨拶			
おかもとりゅうた 岡本 龍太 (青年海外協力隊)	タンザニア	コミュニティ 開発	電気がない村の事務所のコミュニティ開発オフィサーとして活動しました。主な内容はかまどの普及、洗濯板の普及、住民グループでのスモールビジネス支援、農業支援でした。現地の新聞やテレビでも取り上げられました。
せき やよい 関 弥生 (シニア海外協力隊)	モロッコ	料理	モロッコ観光省直属大学にて、日本文化と和食を教える活動をしました。当活動を通じ、様々な日本の課題、特に日本の食領域での課題を認識いたしました。帰国後は当課題に取り組んでおり、それも含めてお話しします。
11月14日(土) 13:30~16:00			
つほい けんご 坪井 健悟 (青年海外協力隊)	ザンビア	小学校教育	ザンビア共和国の南部に位置するモンゼ初等学校で小学生に算数・体育の授業を行い、基礎学力の向上及び授業の楽しさを伝える事に努めました。併せて、ザンビアの子供達にラグビーの楽しさを伝える活動を行いました。
やまざき はやと 山崎 隼人 (青年海外協力隊)	タイ	ソフトボール	タイ代表選手及び指導者層の育成をつうじてタイにおけるソフトボールの普及と強化に努めました。またバンコク郊外の公立現地校に常駐して学校チームの設立や日本語授業のアシスタント等も行いました。
10分休憩			
あべ よしみ 阿部 由美 (青年海外協力隊)	モンゴル	音楽	モンゴルのセレンゲ県の教育局に派遣され、市内の6校を巡回し、現地教員と協力して音楽の授業やクラブ活動を実施しました。また、教育大学や教員研修機関にて日本の音楽の授業や授業構築についてのセミナーを実施しました。
とみた けんたろう 富田 健太郎 (シニア海外協力隊)	エクアドル	土壌肥料学	農業土木の同僚とともに、共同研究および若手教育材料作りに集中しました。各地土壌調査のほか、雨季乾季別栽培比較試験、農牧省との共同研究(塩類塩性土壌改良)、JICAプロジェクト協力緊急特別協力、Cd汚染土壌修復 などを行いました。
講評/閉会挨拶			

会場：JICA地球ひろば6階
セミナールーム600

+Web会議室 (Zoom使用)

会費：無料(どなたでも自由に参加できます)

※事前予約が必要です(予約手順裏面参照)※

会場参加は両日ともそれぞれ定員になるまで先着順
ソーシャルディスタンス確保のため、会場の定員が厳しく制限されております。定員を超えた場合にはWeb会議室での参加をお願い致します。

予約締切 11月12日(木) 17:00

※Web参加につきましても、接続手続きの都合上、上記日時までの予約をお願いします。

※ご参加の皆様には終了後アンケート回答の協力をお願いします。





2020年下期 JICA海外協力隊 帰国報告会

11月14日(土) / 15日(日) 11:00 ~ 16:00
JICA地球ひろば / セミナールーム600 + Web会議室



発表者	派遣国	職種	活動概要
11月15日(日) 11:00~12:30			
開会挨拶			
しばやまたたくに 柴山 正州 (青年海外協力隊)	中華人民 共和国	日本語教育	中華人民共和国の内モンゴル自治区通遼市第三中学にて日本語指導を行いました。主に1年生には日本文化の指導、2年生には教科書の文法や単語の指導、3年生には大学入試へ向けた作文問題の試験対策を行いました。これらの活動以外にも、中国国内の高校にて短期集中型授業を行ったり、北京の日本人学校にて異文化交流を行いました。
うさみ めぐみ 宇佐美 恵 (青年海外協力隊)	ケニア	青少年活動	元ストリートチルドレン、軽犯罪を犯した子ども、親の養育が十分に受けられない子どもたちが収容されている全寮制の男子更生施設で、図工と体育の授業を担当しました。またNPO団体の貯水タンクペイントに協力参加しました。
11月15日(日) 13:30~16:00			
よだ さおり 依田 沙央理 (青年海外協力隊)	モンゴル	体育	小学生を対象に、体育授業の効率化と協調性を身につけられるような授業づくりを指導しました。自分が模範となり初めの半分のクラスを自分が指導し、その授業と同じものを現地の先生に実践で身につけてもらいました。
はしもと まさみ 橋本 正美 (JICA海外協力隊)	グアテマラ	数学教育	JICA編纂の中学生数学教科書(国定教科書)が2019年度から全生徒・教員(教員には指導書も)に配布されました。教員の生徒への指導状況等をアンケート調査し、教員研修会の開催計画等を教育事務所と一緒に考案しました。
ふるや こうき 古谷 幸暉 (青年海外協力隊)	エクアドル	コミュニティ 開発	配属先のじゃがいも協会(ASOPAPA)の他に農牧省とNGOのFundación Humana Pueblo a Pueblo(FHPP)の3団体と現地農家および小規模起業家の収入向上を目的とした活動をしました。主に販売促進やマーケティング基礎などの講習や市場調査、また販売戦略の策定支援など実施しました。
講評 / 閉会挨拶			

※発表時間は、お一人30分(報告25分、質疑5分)です。

参加希望者は締切までに下記の様式に従ってメールにて参加申込書をお送りください。

Subject: JICA海外協力隊帰国報告会参加希望

To: SV経験を活かす会<info@jicasvob.com>

本文: ①お名前、招待メールを受け取りたいメールアドレス

②都道府県(海外は国名) ③年齢層(10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代…)

④参加希望形態<14日: 実会場 / Web会議室 / 不参加 15日: 実会場 / Web会議室 / 不参加>
(実会場での参加希望の場合にも定員を超えたらWeb会議室での参加をお願い致します)

⑤本報告会を何処で知りましたか<JICA東京のサイト / OOのサイト / 報告者からの連絡 / その他>

⑥JICA海外協力隊経験の有 / 無、(一時帰国 / 派遣前待機中の場合はその旨付記願います)

※実会場での参加の皆様へのお願い※

①マスクの着用と受付での検温への協力

②限られた定員の有効活用のため、参加できなくなった場合にはメールをください。

③JICA市ヶ谷ビル内のレストランは報告会開催日が定休日となりますのでご注意ください。

※Web会議室での参加の皆様へのお願い※

①Zoomアプリのインストール

<https://zoom.us/download>

PCからでもスマートフォンからでも参加可能です。11月14日と15日それぞれ参加希望日の午前の報告会開始前に、お送りいただいたメールアドレス宛に招待メールを差し上げます。接続する上での問題、その後の画面表示、音声出力に問題がありましたらメールにてお問い合わせください。

②午前の報告会の終了時刻にかかわらず、午後の報告会は13時30分より開始します。途中で一旦退出された場合には、当日の午前の報告会開始前に届いた招待メールに従って再度参加してください。

主催: NPO法人 シニアボランティア経験を活かす会

共催: JICA東京

担当: 松田信治 (090-9643-7156, matsu.shin@pep.ne.jp)

<https://jicasvob.com/>

<https://www.jica.go.jp/tokyo/>